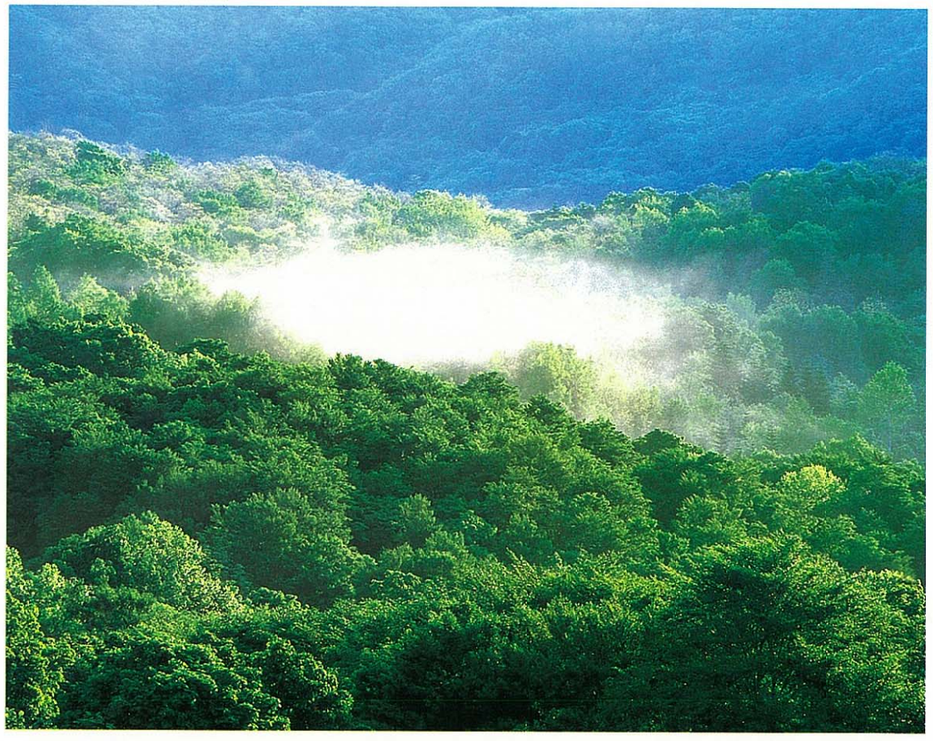
会社案内

Kikosha



氣工社

株式會社 氣工社

https://www.kikosha.co.jp

本社/工場
〒252-0823 神奈川県藤沢市菖蒲沢15
TEL:0466-48-3110 FAX:0466-48-3121
E-mail:eigyoubu@kikosha.co.jp

札幌支店
〒006-0834 北海道札幌市手稲区曙四条2-5-27
TEL:011-684-8881 FAX:011-684-8884
E-mail:sapporo@kikosha.co.jp

九州営業所
〒812-0002 福岡県福岡市博多区空港前2-3-7-203
TEL:080-1013-7225 FAX:092-624-0109
E-mail:kai@kikosha.co.jp

H15.11.3000AT

KIKOSHA

骨材・鉱石の生産から濁水処理そしてリサイクルまで

PLANTS AVAILABLE ALL FROM PLODUCTION OF AGGREGATES AND ORES
TO MUDDY DRAINAGE TREATEMENT AND RECYCLING

氣工社の製品

1. 骨材・鉱石生産関連装置
   - 骨材生産プラント（砂利・砂・砕石・砕砂）
   - 骨材洗浄濁水処理装置
   - タイヤスロンシックナー（全自動外輪駆動型）
   - 全自動フィルタープレス（全自動濾布洗浄機ロフレッシュ付）
   - 石灰石等鉱石洗浄選別プラント
   - 各種関連機器（スクリーン、洗浄機、分級機、フィーダー、他）
2. 環境装置・リサイクル関連装置
   - 各種産業排水・汚泥処理装置
   - 浚渫汚泥分級脱水処理装置
   - 建設廃資源リサイクル装置
   - ケークル、ケークルⅡ（脱水ケーキリサイクル機）
   - 建設残土リサイクルシステム
   - 汚泥処理リサイクルシステム
   - 廃コン廃アスコンリサイクル装置
   - 土壌浄化システム
3. 各種単体機械
   - 選別機　ツインバイブロスクリーン
     ハイテクスクリーン
     ツインサイザー（共振式水平型）
     傾斜式スクリーン
     デッキスクリーン
     脱水振動スクリーン
     トロンメル
     グリズリクリーナー
   - 洗浄機　ドラムウォッシャー
     ログウォッシャー
     ミガクロン（砂磨鉱機）
   - 分級機　ハイメッシュセパレーター
     サイクロン
   - 給鉱機　プレートフィーダー、ベルトフィーダー
     スロットリップフィーダー、振動フィーダー
   - その他　パミスレーター（砂軽比重物除去機）
     Ｈｉ・ウッズ・セパレータ（ゴミ取り機）
     パドルミキサー
     タマクロン（湿式サイクロン）

会社の概要

商　　号	株式会社氣工社　KIKOSHA CO., LTD.
本　　社	神奈川県藤沢市菖蒲沢15番地
事 務 所	札幌市
創　　業	1948年（昭和23年）9月
資 本 金	47,200千円
代 表 者	取締役社長 矢野信彦
事業内容	1. 骨材（砂利・砂及び砕石）・鉱石生産プラント及びその関連機器 2. 濁水・汚泥処理装置及びその他の環境機械装置 3. 産業廃資源リサイクル装置及び関連機器 4. 土壌浄化システム及び関連機器
取引銀行	東京三菱銀行藤沢支店　横浜銀行長後支店 神奈川銀行藤沢支店
加盟団体	社団法人　日本産業機械工業会（鉱山機械部会、環境装置部会）、 社団法人　日本建設機械化協会 廃棄物学会 骨材資源工学会 社団法人　日本真空システム協会 社団法人　日本砂利協会 社団法人　日本砕石協会 エネルギー・資源学会
主要取引先	全国官公庁、砂利・砕石会社、建設会社 セメント会社、商社、廃材リサイクル会社他多数
建設業許可	許可番号／神奈川県知事許可（特ー14）第023761号 建設業の種類／機械器具設置工事業

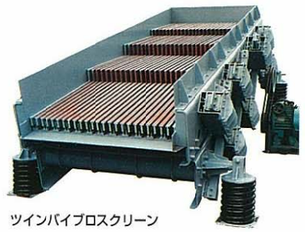
会社の沿革

昭和23年 9 月	創業者山田光三が氣工社の商号により、酸素ガス発生装置のアフターサービス工場を創設。
昭和27年 7 月	可搬式砂利採取機の1号機を完成し製造・販売を開始
昭和29年 2 月	株式会社気工社を東京都大田区に設立。 資本金1,000千円。
昭和35年 4 月	羽田工場新設。
昭和36年10月	札幌営業所を開設。
昭和37年 3 月	本社を東京都品川区に置く。
昭和38年12月	神奈川県藤沢市に藤沢工場新設。
昭和43年 7 月	本社を東京都品川区より藤沢工場内に移転。
昭和45年 9 月	骨材洗浄濁水処理装置を開発し、製造・販売を開始。
昭和52年 6 月	日本鋼管㈱と共同で、建設残土処理装置の開発 。
昭和54年 7 月	廃コンクリート処理装置を開発し製造･販売を開始。
昭和55年 3 月	フィルタープレス(脱水機)を開発し、製造･販売を開始。
昭和56年 5 月	新型砂分級機ハイメッシュセパレーターを開発し、製造・販売を開始。
昭和62年 9 月	宮古開発㈱と新設合併し、新たに株式会社氣工社を設立。資本金23,600千円
平成 3 年10月	札幌営業所の新事務所完成。同時に支店に昇格。
平成 5 年 7 月	関西営業所を神戸市内に開設。
平成 7 年 5 月	建設汚泥処理装置を開発し、製造・販売を開始。
平成 7 年 8 月	砂利ごみ除去機「流選ハイジェット」を開発し、製造・販売を開始。
平成 8 年 6 月	無償倍額増資、新資本金47,200千円
平成10年 6 月	脱水ケーキリサイクル機「ケークル」を開発し、製造・販売を開始。
平成13年10月	脱水ケーキリサイクル機「ケークルⅡ」を開発し、製造・販売を開始。

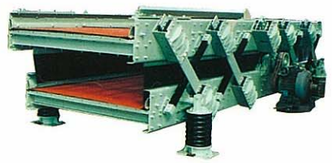
その他の機械装置

OTHER INNOVATIVE MACHINE EQUIPMENT

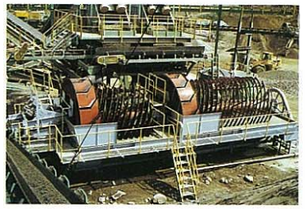
生産設備からリサイクルまで、氣工社の技術開発は様々な成果をあげています。以下はその一例です。装置導入に際しましては、使用条件などに基づくコンサルティングにおいて、ベストな機器を選択してご提案いたします。



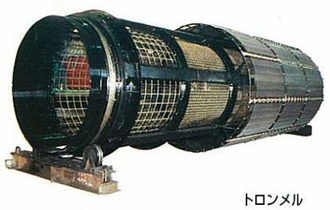
ツインバイブロスクリーン



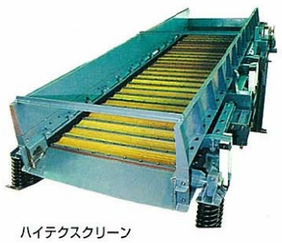
ツインサイザー（共振式水平型スクリーン）



コンビ型ハイメッシュセパレーター



トロンメル



ハイテクスクリーン

流選ハイジェット（砂利ごみ除去機）

土砂分離装置

ミガクロン（砂磨紘機）

土砂・汚泥処理システム

半世紀で築いた技術をこれからの半世紀に活かします。

氣工社の出発点は、骨材機械メーカーとして１９４８年でした。
半世紀以上にわたる骨材生産プラントの専門メーカーとして、
たゆみない技術開発、研究、そして製品化を続けてきました。
製品力、技術力は業界で高い評価をいただき、豊富な実績を重ねています。
なかでも細骨材（砂）生産にいち早く取り組んだパイオニアとして、
湿式砂分級機ハイメッシュセパレーターは、トップシェアです。
またその後工程である濁水処理装置やさらに終末処理のリサイクル装置も、
生産設備にマッチした装置を開発し、業界の支持をいただいています。

こうした氣工社の技術分野は、大きく三つに分けられます。
ひとつは、産業の根幹を支える骨材を産み出す生産関連機器。
ひとつは、骨材・鉱石プラントから発生する濁水を処理して循環再利用する、濁水処理装置。
ひとつは、脱水ケーキ、建設廃材・汚泥などから資源を再生する、リサイクル装置。

骨材生産・濁水処理・リサイクルの
切っても切れない関係にある三つの分野を、
トータルシステムとして取り組んでいる専門メーカーは氣工社だけです。

骨材生産設備———ニーズへの回答

AGGREGATES PRODUCTION FACILITIES——TO FULFILL BROADER NEEDS

脱水ケーキリサイクルプラント

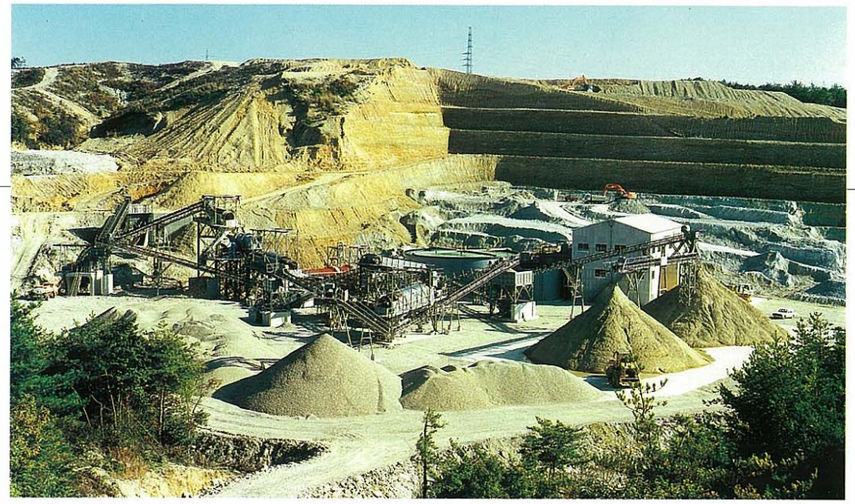
エコロジーと共存する技術です。

氣工社では10数年前から、環境に対して「技術が果たす役割は何か、自分たちが貢献できる技術分野は何か」を問い続け、研究開発を行ってきました。そして現在、その技術の結晶は各種のリサイクルシステムとして実を結んでいます。
濁水処理装置から排出される脱水ケーキのリサイクルはもちろんのこと、建設工事・浚渫工事などから発生する大量の汚泥や残土も、限りある資源として有効に生かし、リサイクルするのが氣工社の技術です。いずれも骨材生産機械や濁水処理装置で培ったノウハウを、フルに生かしたシステムです。
なかでも脱水ケーキリサイクル機ケークルは、ユニークな構造によりケーキを安価で強度のある改良土に再生し、盛土・路盤材・セメント原料などに再利用できるため、骨材・鉱石プラントやダム工事・廃材処理の現場などで活躍し、さらに建設汚泥の処理にも広く応用されています。
これらの技術は、汚染土壌浄化にも生かされています。

ケーキリサイクル機「ケークル」

建設汚泥・残土リサイクルプラント

KIKOSHA



骨材生産プラント

リサイクルシステム——資源の有効利用

RECYCLING SYSTEM——EFFECTIVE UTILIZATION OF RESOURCES

これからも「砂のパイオニア」として歩み続けます。

氣工社は骨材生産分野において、１９５２年に世界初の可搬式砂利採取機の開発に成功して以来、ニーズを的確にとらえた研究開発により、常にマーケットに支持される製品を生み出してきました。産業界の根幹を支えてきた骨材の生産にかかわる永年の実績とノウハウ。それは氣工社が全国に納めてきた骨材関連機械装置それぞれに反映されています。いずれも優れた性能はもとより、効率・安全性・省力化の向上を実現し、ユニークな製品ばかりです。

なかでも砂の生産については、どのような条件下でも安定した良質の砂製品を生み出す、抜群の分級・洗浄・脱水の能力を発揮する分級機ハイメッシュセパレーターを中心に、湿式分級機のトップメーカーとして技術領域の開拓、拡大を続けています。

その技術は今、環境・リサイクルの分野にも広く応用され、土砂・汚泥の資源化に生かされています。

砂軽比重物除去機「パミスレーター」

ハイメッシュセパレーター

KIKOSHA

濁水・汚泥処理装置——生産工程とのマッチング

MURRY DRAINAGE/SLUDGE TREATMENT PLANTS——HIGHLY MATCHED TO SUPPORT PRODUCTION PROCESSES

濁水処理装置　タイヤスロンシックナー　フィルタープレス

理想的な濁水・汚泥処理は、高度な技術とリサイクルが不可欠です。

骨材・鉱石プラントや工事現場から排出される洗浄濁水は、清澄処理して再生循環利用します。
氣工社では、骨材プラントメーカーとしてのノウハウをもとに、早くから濁水処理の技術分野に取り組んできました。
氣工社の濁水処理装置は、変化の激しい濁水の濃度や性状に応じて、再利用に最も適した水に再生し、全体を完全に自動無人化してハンドリングフリーで運転します。メンテナンスが容易なタイヤスロンシックナー、自動濾布洗浄機ロフレッシュを標準装着したフィルタープレスなどを基本に、卓抜な開発思想から生まれたシステムを生み出しています。薬剤使用量を大幅に減らす省薬コントロールシステムもその一環であり、ランニングコストの削減だけにとどまらず、循環水を再利用に適した水質を保つために欠かすことのできないシステムとして、氣工社が骨材の生産工程を充分に知りつくしたうえで考え抜かれたものです。
さらには濁水処理工程から発生する脱水ケーキについても、安定処理を施すことにより資源を有効利用するためのケーキリサイクル機ケークルをラインアップしています。

ロフレッシュ付フィルタープレス

ケークル